



合気道伝書

# Rare Prewar Aikido Technical Manual!

**"Aikido Densho"**  
by Kanemoto Sunadomari



合氣道伝書



# 合気道伝書







武産合氣翁認可

合氣道導師 砂 泊 氣 海

座	正	正	肩	肩	袖	胸	首縮め	両手	両手	半身半立	手	手	両手	両手	立	正	正	正	横	横	横	横	
り	面	面	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	立	(一)	(一)	(一)	(一)	業	(一)	(一)	(一)	(一)	(二)	(二)	(二)	(四)
業	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	(一)	
1	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17	18	19	21	22	23	24	25	26	27

両手	両手	両手	両手	両手	手	手	手	手	手	手	手	手	両肩	両肩	袖	袖	袖	肩	肩	肩	肩	肩	肩	
手	手	手	手	手	(九)	(八)	(七)	(六)	(五)	(四)	(三)	(二)	肩	肩	(三)	(二)	(一)	(六)	(五)	(四)	(三)	(二)	(一)	
(五)	(四)	(三)	(二)	(一)	《合気気投げ》	《合気気投げ》	《四方投げ》	《体の変化》	《体の変化》	《体の変化》	《体の変化》	《体の変化》	(二)	(一)	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28

後	その他の業	両手	両手	両手	両手	腕	腕	肩	肩	後ろ衿	後ろ衿	後ろ衿	後ろ衿	後	胸	胸	胸と手	胸	胸	両手
書		(四)	(三)	(二)	(一)	(二)	(二)	(二)	(二)	(四)	(三)	(二)	(一)	ろ	(二)	(二)	(二)	(二)	(二)	(六)
き														業						
	76																			
	80	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	61	60	59	58	57	56	53

# 座り業



剛と柔流にむすひて氣を放つ  
合氣の術ぞ修身の道

氣海



## 正面(一)

(仕手)  
(受け手)  
(仕手)

右手で面を打ち、左手で脇を突くと同時に腰を上げる。  
右手で相手の右手を受ける。  
右手で相手の右手首をつかみ、左手で右肘をつかむ。同時に左膝を  
少し進めながら右手引き倒し、左手で肘を押さえる。





## 正面(一)

(受け手)  
(仕手)

右手刀で打ち出すと同時に左手で突く。  
打ち来る相手の右手を右手で受けると同時に、右膝を後ろへ退いて、  
左手で肘をつかみ右下方へ引き倒す。





(受け手)  
(仕手)

## 肩 (一)

右手で相手の左肩をつかむ。

右手で面を打ち、左で相手の右肘を打ちながら左膝進み、右手で相手の右手をとって前方へ押し倒す。





(受け手)  
(仕手)

右手で相手の左肩をつかみ、左手で打ち出す。  
打ってくるのを左手で受け、左手で肘を打ち下ろして仰向けに倒す。

## 肩 (二)





## 袖

(受け手)  
(仕手)

右手で相手の左袖をつかむ  
つかまされると同時に右手で面を打ち、左へ寄って相手の左肘を打ち  
倒す





## 両袖

(受け手)  
(仕手)

両手で相手の両袖を持つ。  
右手で面を打って、左手で相手の右肘を打ち、  
とり前方に打ち倒す。右手で相手の右手を





## 胸

(受け手)  
(仕手)

右手で相手の胸を持つ。  
つま先立って右で面を打ち、同時に左膝を進めて体を右に開く。



(受け手)  
(仕手)



## 首締め

相手の衿を綾にとつて首を締める。(右手上)  
右膝を引きつつ右手で面を打ち、左手を下から相手の左手にかけて崩し、左手を顎に右手を頭にかけて捻る。





## 両手(一)

(受け手)  
(仕手)

両手で相手の両手をつかむ。  
掌てのひらを上に向けて真つすぐに伸ばし左方に倒す。





(受け手)  
(仕手)

## 両手(一)

前同

右手で相手の右手の上に乘せ、右方にはねて左手をはずし、右膝を引き左手で相手の左袖さそでを引き倒す。



# 半身半立

身と魂のむすびは合氣のはじめなり  
宇宙に広き氣のむすびわざ

氣海



(受け手)  
(仕手)



## 手 (一)

左手で相手の右手を横からとり、右手で打ち出す。  
引かれるまま右膝を進め、同時に右手を上げ相手の左手首をつかんで振りかぶり、頭につける様にして左側に倒す。





## 手 (二)

(受け手)  
(仕手)

左手で相手の右手を横からとる。  
右膝を相手の後ろへ進め、右肘で相手の左膝を押し倒し、左手で右足首をつかみ倒す。





## 両手（一）

（受け手）

（仕手）

両手で相手の両手首をつかむ。

右膝を少し進め、左手で相手の左足首をつかみ、右手で膝をつかんで押し倒す。（膝を持たずにたたき倒してもよい。）



(受け手)  
(仕手)

## 両手(二)

前同

左手で相手の左手を持ち、右手を前へ突き出しながら振りかぶり、右膝を前へ出してつま先立ち、右膝を中心に左まわりに回転しながら立ち上がり後方に倒す。



# 立ち業

たぎりたる血のゆくは氣となりて  
在ち雲にむすひ力とくなる

泉海



(仕手)  
(受け手)  
(仕手)

## 正面(一)

右手で打ち出し、左手で相手の右脇を突く。  
右手で相手の右手を受ける。  
右足より進み左足踏み込み、左手で相手の右肘をつかむ。  
(指先に  
力を入れる。)





# 正面(二)

(受け手)  
(仕手)

右手で相手の面を打つ。  
左足大きく後ろへ引き、右手を相手の首へ切り下ろし、前へ押し倒す。  
(または、左手で相手の右手か右袖を引く。)





(受け手)  
(仕手)

前同

## 正面(三)

左足を進め入身になり、相手の右側に入りつつ左拳で脇を突き、右手で相手の手刀を切り下ろす。更に、深く相手の後ろに回りつつ左手で後ろ衿をとり、右足を踏み込み相手の顎を強く押して倒す。(または、右前肘で首を押し上げて倒す。)





## 横 面 (一)

(受け手)  
(仕手)

右手で横面を打つ。  
左足を左方へ出し、左手で相手の右手を切り下ろして之をつかみ、  
右手で首へ打ち下ろす。





(受け手)  
(仕手)

前同

## 横面(二)

左手で受け左足を引き右で面を打つ。両手で相手の右手を持ち、左足を進めて食い入り、右足を進めて打ち倒す。





(受け手)  
(仕手)

前同

## 横面(三)

左足を引くと同時に左膝をつき、右手で相手の右袖をつかんで引き倒す。  
相手の右袖をつかんで引き倒す。





(受け手)  
(仕手)

前同

## 横面(四)

左足を進め左手で受け、同時に右手で相手の面を打ち、直ちに相手の右手を切り下ろし、深く相手の後ろに回り衿をとる。右足を進め右前肘で相手の首を押し下げて倒す。





## 肩 (一)

(受け手)  
(仕手)

右手で相手の左肩をつかんで引く。  
右手で面を打ち、相手の右手をつかんで左肩で押し出し、左足を進めて、左手で相手の右肘をつかんで前へ倒す。





(受け手)  
(仕手)

## 肩 (二)

左手で相手の右肩をつかむ。  
左手より進み左足を相手の後ろへ踏み込み、右肘から相手の首の前へ伸ばす。





## 肩 (三)

(受け手)  
(仕手)

左手で相手の右肩を持ち、右手で打ち出す。  
左手で受け、右足を相手の足の間へ進め、頭を深く下げて頭を越して後方に投げる。





(受け手)  
(仕手)

## 肩 (四)

左手で相手の右肩を持ち、右手で横面を打ち出す。  
左手で受けて右手で面を打ち、両手で相手の右手を持って右足を進め、手の下をくぐり前方へ投げる。



# 肩 (五)

(受け手)

前 同

(仕手)

左手で受けて、右で持ち直して右後方に引き寄せ、同時に左足を一歩進めて右手を離す。右手を相手の首へ巻き、右足を相手の後方へ踏み込み前方へ押し倒す。





## 肩 (六)

(受け手)

前同

(仕手)

右手で面を打ち、左手で相手の右手をつかみ、左足を引いて体を開き、相手の頭の後方に切りおとす。





(受け手)  
(仕手)

## 袖 (一)

左手で相手の右袖を持ち引く。  
引かれるまま両手刀で肘を押し上げながら進み、左手で相手の左手をつかみ、右足を相手の前へ進め、右手で肘を切り下ろす。





(受け手)  
(仕手)

## 袖 (一)

左手で相手の右袖を持ち、右手で面を打つ。  
右手で受けてそのまま巻き込み、左で相手の左袖を引き、右足を引いて膝をつき引落とす。







## 袖 (三)

(受け手)  
(仕手)

左手で相手の右袖を持ち、右手で突き出す。  
右足で相手の左足を踏み、右手を上から相手の肘にかけ、左足を後ろへ引く。





(受け手)  
(仕手)

## 両肩(一)

両手で相手の両肩をつかむ。

左手で相手の面を打ち、右足横向きに進め、左足相手の後方へ踏み込み、上体を真っ直ぐに突っ込み相手の手の下をくぐり、左肘で相手の脇を打つ。





(受け手)  
(仕手)

## 両肩(二)

前同

右手で面を打ち、左へ肩を引き、左足を後ろへ開く。相手の手の後ろへ頭をくぐり、右手で顎を押すと同時に右足を深く相手の後ろへ踏み込む。





(受け手)  
(仕手)



## 手 (一) 入身

左手で相手の右手首をつかむ。

右指頭に力を入れ、掌を上に向けて斜め左に突き出し、右足より相手の体に近く左側に深く入り、後方に注目しつつ左手で相手の左手を下からとる。

相手の左手より右手を脱して面を打ち、左足を踏み込みつつ左前肘で首を押し下げ倒す。この時左手の指先に力を入れ腕を内側に向けるようにする。



(受け手)  
(仕手)

前同

## 手 (二) $\wedge$ 体の変化 $\vee$

右手先に力を入れ、左前方に半円形に突き出しつつ掌を上に向け、右足を軸として大きく左に回転し後方にそなへる。





(受け手)  
(仕手)

前同

手

(三)

△体の変化▽

つかまれたら直ちに右足から進んで相手の後ろへ踏み込み、右手を伸ばして左手で相手の首を切る。(相手が足を引いたら、左足踏み込み左手で相手の右袖を引く。)





(受け手)  
(仕手)

前同

手

(四)

／＼ 体の变化

左手で相手の面を打ち、その手で相手の左手をとり同時に左足を後ろへ引いて、右手で肘をおさえて突き倒す。







## 手 (五) 〓 体の変化 〓

(受け手)

左手で相手の右手首をつかみ、右手で面を打つ。

(仕手)

左手で面を打ち、右手をぐつと突き出し、右足を踏み込んで相手の左足を踏み、右手で腰を押し左手で首を押さえる。





(受け手)  
(仕手)

## 手 (六) 〓 体の変化

左手で相手の右手首をつかむ。

左足を相手の前へ進め、右手を内から上げ相手の首の後ろへ回す。

更に右足を後ろへ進め、左手を首の前から回して、右手で後ろの首首を引いて左足を更に深く進める。





(受け手)  
(仕手)

前同

# 手 (七) △ 四方投げ ▽

右手振りかぶると同時に右足進め、左手で相手の右足首を持ち体を回転させて打ち倒す。

(前後左右いずれの方向にも投げられるように練習する。)





(受け手)  
(仕手)

前同

## 手 (八) 合気投げ

引かれたとき、引かれるままに右足を相手の前左へ進め、同時に右手同じ方向に突き出す。  
そのままのとき、右足を軸に左方向に体を回転させて相手と並び、右手を前下へ突き出す。(相手が手を離れたら、そのまま前から左手後ろから回して抱き上げる。)





## 手 (九) 合気投げ

(受け手)  
(仕手)

左手で相手の右手首をつかみ、右手で打ち出す。  
左手で相手の面を打ちながらくぐり、左手で肘をつかんで投げる。  
(くぐった後、右足を相手の後ろへ踏み込んで、右肘で相手の脇腹を打ちながら打ち倒す。)





(受け手)  
(仕手)

## 両手(一) 四方投げ

両手で相手の両手をとる。  
相手が右足、仕手も右足が前に出ているとき、左足を一步進めて回る。回りながら右手で相手の右手をつかみ、振りかぶりながら後ろへ切り下ろす。





(受け手)  
(仕手)

前同

相手は左足、仕手は右足が前に出ているとき、左足を大きく後ろへ引いて回る。回りながら左手で相手の左手をつかんで振りかぶり切り下ろす。

## 両手(二) 〆 四方投げ 〷



(仕手)  
(受け手)

前 同

## 両手(三)

左足より進み、右足を相手の左後ろ(自分から見ても)へ進め、左手を伸ばし、右手を真正面に振りかぶり進んで首へ切り下ろす。







(仕手)  
(受け手)

前同

## 両手(四)

右足を相手の前へ、左手をつき上げて首の向こう側へ押し気味に突き出す。左足は相手の後方へ進め、左手は掌を上に向ける。





## 両手(五)

(受け手)

前同

(仕手)

左手を外から回して引きつり込み、左足を一歩進めて腰投げをかける。





## 両手(六)

(受け手)

前同

(仕手)

右足を相手の左横へ進めながら、右手を相手の右手肘の上から斜め前に突き出す。



# 胸 (一)

(受け手)  
(仕手)

右手で相手の胸元をつかんで引く。  
右手で面を打ち、つかんだ手をとって腰を少しさげ、引かれるままに左足を深く進め、左手で相手の肘関節にかけて押し倒す。





## 胸 (一)

(受け手)  
(仕手)

右手で相手の胸元をつかみ、左手で打つ。  
右手で受け、右足を引いて左手で相手の左袖をつかんで引く。





## 胸と手 (一)

(受け手)

左手で相手の右手首を持ち、右手で胸元をつかむ。

(仕手)

引かれたら引かれるまま、つかまれた手振りかぶる様にして左足より進み、右足を相手の後ろへ進めて切り下ろす。





(受け手)  
(仕手)

前同

## 胸と手 (二)

右手を持たれた瞬間左斜めへつき出し、左足を進めて左手でとり直し、右手で相手の右袖をつかんで右足を進める。





(受け手)  
(仕手)

## 首締め (一)

両手で綾にとって首を締める。

右手で相手の左袖引いて右足充分引き左で胸打つ。





# 立ち業

(イ)



(ロ)



(ハ)



## 首締め (二)

(仕手)  
(受け手)

(イ) 前同

(ハ) (ロ) 右手で面を打ちながら左足を少し引き、左から相手の手をくぐりそのまま両手を真つ直ぐに伸ばす。  
(イ) 右手で面を打ちながら左足を少し引き、左から相手の手をくぐりそのまま両手を真つ直ぐに伸ばす。  
(ハ) 右手で面を打ちながら左足を少し引き、左から相手の手をくぐりそのまま両手を真つ直ぐに伸ばす。



## 首締め (三)

(受け手)

前 同

(仕手)

左手を下から入れて相手の左腕にかけ、右手で頭を押さえ、同時に左手で相手の右袖を持ちながら右足を進める。



# 後ろ業

統<sup>ア</sup>な<sup>ハ</sup>氣<sup>ノ</sup>の<sup>ハ</sup>む<sup>ス</sup>ひ<sup>ナ</sup>り<sup>光</sup>有<sup>る</sup>  
直<sup>ニ</sup>照<sup>リ</sup>て<sup>神</sup>力<sup>カ</sup>そ<sup>ハ</sup>づ

氣  
海



(受け手)  
(仕手)



## 後ろ衿 (一)

右手で相手の後ろ衿をつかむ。  
右足を真後ろへ引きつつ右手を振りかぶり、左手で相手の面を打つ。  
左足を大きく後ろへ下げ相手の手の後ろへ抜け、右手で相手の右手をとり、左で右肘を押さえて、左足を再び進め前方に投げとばす。



(受け手)  
(仕手)

## 後ろ衿 (二)

右手で相手の後ろ衿をつかむ。仕手が打つのを左手で受ける。  
右足を少し引いて左で面を打ち、つかまれたまま左足を相手の後ろ  
へ引き、左手を真下へ切り下ろす。





(受け手)  
(仕手)

前同

## 後ろ衿 (三)

相手が後ろ衿を取ろうとすると同時に、右足を軸にして右に回りつつ相手の右後方に入り、右手刀で相手の右手を打ち下ろす。次に右足を相手の後方に踏み込みつつ右手で相手の面を打ち倒す。





(受け手)

前 同

(仕手)

左手で胴を打ちながら左足を引いて左へ回り、右足を更に踏み込んで右手で顎を押す。

## 後ろ衿 (四)







(受け手)  
(仕手)

## 肩 (一)

両手で相手の両肩を後ろからつかむ。

左手を頭上に振りかぶり、頭を覆うようにして同時に左足を半ば進める。腰をさげて右に回転した左足を相手の後ろへ進め、同時に左肘または両手を充分伸ばして相手を左後方へ投げ飛ばす。





## 肩 (二)

(受け手)

前同

(仕手)

左足を相手の右後ろへ引き、左手を上から、右手を下から入れ抱き上げる。



## 腕 (一)

(受け手)  
(仕手)

両手で相手の両上腕を後ろからつかむ。(前へ押す。)  
右手を振りかぶり右足進めて左に転じ、右手で首を押さえ左手で相手の左袖を引く。



(受け手)  
(仕手)

前同

## 腕 (二)

右足を相手の左後ろに引き、左手で相手の左手を押さえて自分の胸につけ、右手で相手の左肘を押して前へ倒す。





(受け手)  
(仕手)

## 両手(一)

両手で相手の両手首を後ろからつかむ。  
右足を後ろに引き、右手は頭を越して前へ回し、左足を相手の後ろへ引く。左手で相手の右肘をつかみ、左足を更に前へ進め押し倒す。



# 両手(二)

(受け手)

前同

(仕手)

右足を前から左に回し、同時に右手あげて左に回る。右足を相手の後ろまで回し、両手を伸ばして相手を反り返らせ仰向けに倒す。





(受け手)  
(仕手)



## 両手(三)

前同

左手を前下へ誘導し、右足を後ろへ引く。右手を相手の右後ろへ導き、左手で右後方に投げとばす。





## 両手(四)

(受け手)  
(仕手)

両手で相手の両手首を下からもちあげる。  
右足を相手の右後ろへ下げ、右手を腰につけ左手を伸ばして相手の  
胸元へ切り下ろす。



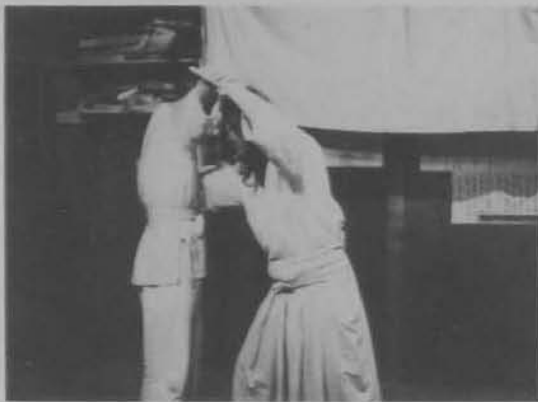
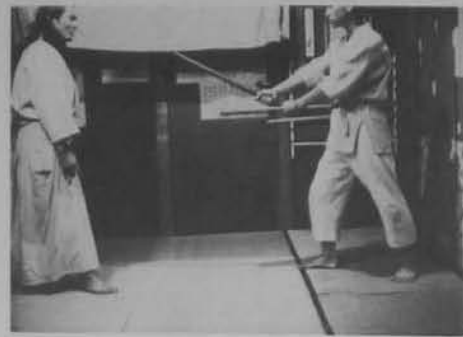


神は次元をこえる力有り  
心はにみがかん気象の外をまわす

氣海









本書は、武産合氣翁認可 砂泊氣海合氣道導師の技を後世に末永く残し、受け継いで頂きたく作成いたしました。

本書作成にあたり、御協力頂きました関係者各位にこの場をもちまして厚く御礼申し上げます。

平成五年五月  
(非売品)

**БИБЛИОТЕКА БОЕВЫХ  
ИСКУССТВ**

**<http://martialartsbibl.ucoz.ru/load>**



